

晴れやか！新成人



式典後、記念集合写真を撮影



式典では実行委員会が中心に行われました

573人が大人の仲間入り

1月7日、行方市文化会館において、行方市成人式が開かれ、新成人たちの大門出を祝いました。

市内の新成人者は573人（男309人・女264人）のうち、435人が晴れ着やスパンなどで出席し、新成人が中心となった実行委員会が受付から進行など企画・運営を担いました。

式典では、坂本市長が「皆さんには選挙権など、さまざまな権利が与えられたが、同時に社会人としての責任を負うことにつ



振り袖姿で大人への門出を喜ぶ新成人たち

なつた。その自覚をしつかりもつて、新しい希望と決意で力強く一步を踏み出してほしい」と新成人を祝福。また、恩師代表として、玉造中の学年主任を務めた大崎あい子さんが「成人式は、人生の大切な節目であり、責任と義務が伴うと同時にひとりの大人として認められる日です。一人一人が、自分の個性を生かし社会の大重要な一翼となつて活躍することを期待します」と激励をしました。

最後に成人式実行委員長の千ヶ崎直樹さんが「行方市が、素



企画・運営を担った実行委員会のメンバー

成人式実行委員会

実行委員長	千ヶ崎直樹(於下)
副実行委員長	仲田 朋代(井上藤井)
実行委員	柳町 恋(内宿)
兼平	門井 佑美(小高)
関口 伯昭(谷島)	高野 真伊(山田)
樽見 志保(手賀)	瀧ヶ崎和博(西蓮寺)
塙 隆一(矢幡)	桙町 鮎美(粗毛)
茂木 裕子(南)	山脅れなり(小幡)
吉崎あつみ(富田)	

晴らしい市になつてゆくためには、我々新成人が今以上に地域を愛し、社会人としての自覚を高め、目標に向かつて日々精進することや相手に対し求めることがばかりではなく、何かをしてあげようとする優しい心を持つことができる人になることが重要です」と決意を述べました。